

産衛だより

平成 25 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 9 月 21 日（土）13：00～17：00

場 所：フクラシア浜松町

出席者：圓藤吟史（理事長）、五十嵐千代、大久保靖司、大前和幸、荻野景規、加藤 元、川上憲人、岸 玲子、久保田昌詞、車谷典男、五味秀穂、斉藤政彦、柴田英治、菅沼成文、菅原 保、住徳松子、諏訪園晴、笠島 茂、谷川 武、角田 透、中川秀昭、野見山哲生、東 敏昭、堀江正知、宮本俊明、柳澤裕之、吉田貴彦（以上理事）
實成文彦、藤田雄三（監事）

欠席者：原田規章、村田勝敬、山田誠二

理事出席者 27 名であることから、定款第 38 条により、理事会が成立していることを確認した。

総務担当理事より、新事務員の中村昌子さんの紹介があった。

審議事項

- 平成 25 年度第 2 回理事会議事録の確認：川上総務担当理事了承された。
- 表彰制度候補者推薦について：川上総務担当理事各担当委員より募集結果等が報告された。
- 委員会に関する細則、および各委員会の内規について：圓藤理事長

前回理事会で指摘を受けた点を修正した委員会に関する細則、および各委員会の内規が提示され、説明された。質疑応答を経て、委員会に関する細則は了承された。

編集委員会内規については、継続性を重視して、委員長の出選方法等が具体的に明記された改定案が提示され、承認された。

利益相反に関する委員会について定めた「産業衛生に関する調査研究等における利益相反（COI）に関する規程」については、内容が委員会内の事柄のみならず、学会全体の利益相反に関わることを定めているため、委員会内規としてではなく、規程として取り扱う。この規程に基づき、学会全体の利益相反マネジメントを進めていく。

労働衛生関連政策法制度委員会については名称の短縮、目的の中に労働衛生に関わる労働安全についても入れる件で委員会からの意見が提出された。再度持ち帰り今回の改定を含め委員会に検討を依頼することとした。

許容濃度等に関する委員会内規、生涯教育委員会内規については、改定案の内容についての異議はなく、各委員会に改定検討を依頼することとなった。

また、委員の選任にあたっては、委員会に関する細則に沿って、広い視野でバランスよく適任者を登用していくことが確認された。

4. 部会に関する細則の改正案について：圓藤理事長

部会幹事の資格として、これまでは学会所属 5 年以上の正会員であることが条件であったが、5 年に満たない正会員であっても代議員であれば可とした。部会に関する細則の改正案は一部の条文を削除して承認された。

各部会の規則については全体の整合性を取った改訂案が提示され、この改定を各部会総会で審議するよう求められた。また、細則には各部会の英語名も明記することとした。

5. 産業医部会幹事の委嘱について：斉藤理事

学会歴が足りなかった幹事候補者に代わり新幹事が推薦され、承認された。幹事の推薦方法について確認された。

6. 再雇用職員の就業に関する規程について：大久保総務担当理事

公益法人化に伴い就業規則が改定されたことに伴い関連した部分のみを変更した。

7. 寄附金等取扱規程案について：角田経理担当理事

寄附を受領する場合の基準と運用について定めた規程案が提示され説明された。今後の運用や寄附金受入可否判断の基準等について確認され、規程案は承認された。今後の寄附を受ける場合はこの規程に基づくが、寄附者が特に寄附金控除を受けることを希望しない場合は従来通りの運用で差し支えない。

8. 地方会部会の位置付けについて：角田経理担当理事

前回理事会審議で懸案となった地方会部会の位置付けについて、各部長および各地方会の理事より現状が報告され、方針を定める必要があることが再認識された。角田経理担当理事が引き続き担当として方針案を作成し、組織形態や地方会部会の規約のあり方についても検討するよう求められた。

9. 役員選挙の運用について：柳澤理事

公益移行後の新定款および役員選挙関連の細則に基づき、中央選挙管理委員会の業務について整理したマニュアルが提示された。運営スケジュール、代議員定数の計算方法と理事候補者定数の計算方法等が説明された。代議員選挙における選挙権及び被選挙権を確定する基準日時については 7 月 31 日 24 時時点とすることとした。

中央選挙管理委員会の委員構成については、委員会にて案を作成するよう求められた。

10. 許容濃度提案理由書のホームページへの掲載について：大前理事

許容濃度の提案理由書をホームページに掲載することが提案された。許容濃度については内外からの問い合わせも多く、有用であることから同意が得られた。掲載のための費用の目処が立った時点で、再審議することとした。

11. 産業看護職専門制度について：五十嵐理事

前回理事会の審議で指摘を受けた事項について、ワーキンググループにて再検討した結果が報告された。名称については、「学会認定産業保健看護専門家（保健師・看護師）制度」と言う案が提示された。制度設計としては、教育や研修の運営の部分は従来通り産業看護部会が担当し、資格の認定と更新は学会が行うという分担案が提示された。また収支は参加費用の範囲で収まる見込みであると報告された。これらの問

題を検討するための非常設の準備委員会を起ち上げることが提案された。制度の意義等を検討した結果、非常設委員会を設置することが承認された。期間は2年間とする。委員については理事長が人選し委嘱することとなった。

12. 次回理事会日程について：川上総務担当理事
 今回は平成25年12月21日（土）、次々回は平成26年4月12日（土）の予定。
13. その他：

- ①第25回産業医・産業看護全国協議会の開催地について
 平成27年度開催の第25回産業医・産業看護全国協議会は、中国地方会が担当することとなった。
- ②第89回および第90回日本産業衛生学会の開催地について
 平成28年度開催の第89回日本産業衛生学会は、東北地方会が担当することとなった。開催地は福島県、企画運営委員長は福島哲仁氏（福島県立医科大学）の予定。
 平成29年度開催の第90回日本産業衛生学会は、関東地方会が担当することとなった。

報告事項

1. 第86回日本産業衛生学会会計報告：谷川理事
 収支の中間報告がなされ、黒字の見込みが報告された。
2. 第87回日本産業衛生学会準備状況報告：荻野理事
 メインシンポジウムや特別研修会の内容がほぼ決まったこと等が報告された。
3. 第88回日本産業衛生学会準備状況報告：車谷理事
 参加人数や演題数の目標が報告された。会場の割り振りや講演集の作成方法も工夫して、簡素化を検討していることが報告された。
4. 第22回産業医・産業看護全国協議会会計報告：五十嵐理事
 監査を経た収支計算書が提出された。
5. 第23回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：斉藤理事
 事前登録者数も予定数となり、準備は順調に進んでいる。四部会合同セミナーは既に平成25年9月13日（金）に開催され、スムーズに運営されたことが報告された。
6. 第24回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：中川理事
 会期（平成26年9月25日（水）～27日（土））、場所（金沢市、金沢市文化ホール・石川県文教会館）、企画運営委員長（中川秀昭北陸甲信越地方会長）等が報告された。
7. 厚生労働省労働衛生課との意見交換会について：総務担当理事
 平成25年8月10日（土）に、厚生労働省労働衛生課との意見交換会を行ったことが報告された。双方から数名ずつが参加し、自由な意見交換を行った。
 事業場におけるストレスチェック制度の義務化に関する法改正についての意見が多く交わされたが、その後、労働政策審議会安全衛生分科会より、平成25年9月25日開催の審議会において、当学会からのヒアリングを行いたいとの依頼が届いたことが報告された。事業場におけるストレスチェック制度の義務化に関しては、理事長からの諮問を受けて労働衛

生関連政策法制度委員会のワーキンググループで取りまとめた中間報告がすでに公表されており、その内容については理事及び監事の賛同が得られているため、審議会には川上理事が出席し、この中間報告について説明することとした。

8. 第21回アジア労働衛生会議（ACOH）準備状況報告：東理事
 予算規模や集客目標、資金運用の方針、ACOHの運営ルール等が説明された。集客についての協力が呼びかけられた。当学会の位置づけ等、前回理事会での指摘事項は改善されていることを確認した。
9. 産業医部会報告：斉藤理事
 新幹事の役割を決めたことが報告された。部会員にとってより魅力的な活動を行い、部会員増を図る。
10. 産業看護部会報告：住徳理事
 事業報告と事業計画等が報告された。一部の事業計画は都合により延期された。
11. 産業衛生技術部会報告：柴田理事
 第23回全国協議会と同時開催で行われる行事、研修会シンポジウム等が紹介された。来年度の第87回日本産業衛生学会時の行事を検討中である。
12. 産業歯科保健部会報告：加藤理事
 第23回全国協議会での予定や、今年度開催する研修会等について紹介された。第87回日本産業衛生学会についてはシンポジウムのテーマや演者が決定していることが報告された。
13. 専門医制度委員会報告：大久保理事
 登録者数（指導医320名、専門医224名、研修医281名）、今年度の試験結果、今後の試験日程等が報告された。
 また、日本専門医制評価・認定機構からヒアリングを受け、当学会における資格取得の構造や、当学会の専門性についての理解が得られたことが報告された。
14. 労働衛生関連政策法制度委員会報告（WG中間報告）：岸理事
 事業場におけるストレスチェック制度の義務化に関して、理事長からの諮問を受けて検討し、平成25年8月1日に中間報告を提出し、ホームページにも掲載したことが報告された。今後本来のメンタルヘルス対策のあり方についてまとめる予定であることが報告された。また、「産業現場の化学物質管理」についてのワーキンググループの活動状況が説明され、産業現場の幅広い関連課題を選定するための意見を寄せるよう呼びかけられた。
15. 利益相反委員会報告：東理事
 同委員会の外部委員として、綿引幹男氏（弁護士）が推薦された。同氏の公職歴等が紹介され、外部委員として承認された。
16. 中央選挙管理委員会報告：柳澤理事
 東北地方会において代議員1名の欠員補充を行ったことが報告された。
17. 担当理事報告：各担当
 ①経理担当理事報告：角田理事
 来年度の予算を次回の理事会で承認すること、そのため各

会に予算書と事業計画の提出を求めると報告された。また、本年度の経理の書類について、出納帳や証拠書類の提出も求めると報告された。

18. 公的委員会等情報報告：各担当
- ・内閣府の自殺対策推進委員会：五十嵐理事
同委員会は本年度から業績評価委員会と官民連携委員会に分かれた。昨年 15 年ぶりに自殺者数が 3 万人を切り、今後その原因分析が進められること、また一方で若年数の自殺者数は微増傾向にあること等が報告された。
19. 学会名簿使用許可報告：大久保総務担当理事
九州地方会所属の登録産業看護師の使用許可 1 件、専門医および指導医の名簿の使用許可 1 件の申請があり、許可したことが報告された。
20. 会員の状況：川上総務担当理事
正会員数：7,612 人（平成 25 年 9 月 10 日現在）
21. 協賛・後援等：川上総務担当理事
以下の 6 件が報告された。
- ・第 41 回産業医学講習会（後援）
 - ・日本労働衛生工学会（協賛）
 - ・第 37 回人間－生活環境系シンポジウム（協賛）
 - ・第 33 回医療情報学連合大会（協賛）
 - ・被災地支援活動「心の絆プロジェクト」（後援）
 - ・新学術領域研究「プラズマ医療科学の創成」公開シンポジウム（協賛）
22. その他：川上総務担当理事
- ・地方会、部会、委員会等の雇用及びアルバイトについて：大久保総務担当理事
学会の業務のために人を雇用する場合には、事前に相談するよう求められた。
 - ・ホームページの掲載内容について：大久保総務担当理事
学会ホームページのトップページに継続掲載されている「東北地方太平洋沖地震・東日本大震災への対応について」については、地震発生直後の対応についての内容となっているため、表示場所を移し、内容の見直しを図ることとした。
 - ・講演集の取り扱いについて：大久保総務担当理事
年次学会や全国協議会時の講演集について、最近では参加者のみに配布しているが、電子化ファイルの形態で一括保管することが提案され、協力が呼びかけられた。
 - ・編集委員会報告：益島理事
学会誌における利益相反について、今年度中には和文誌英文誌ともに投稿規程に追加されると報告された。
また、本年度で現編集委員の任期が満了となるため、次期委員の推薦への協力が呼びかけられた。

平成 25 年度第 2 回（第 136 回）政策法制度 委員会議事録

日 時：平成 25 年 9 月 26 日（木）9：00～12：00

場 所：名古屋国際会議場 436 会議室

出席者：委員 五十嵐千代，加藤 元，岸 玲子（委員長），

齊藤政彦，柴田英治，武田繁夫，橋本晴男，
廣 尚典，堀江正知，松井春彦，

欠席者：川上憲人，久永直見，矢野栄二，吉川 徹

（五十音順：敬称略）

I. 報告事項

1. 新委員の紹介について
廣委員が委員長から紹介された。
2. 前回議事録と新委員名簿の確認

II. 審議事項

1. 委員会名と委員会細則について
 - (1) 「政策法制度委員会」への名称変更が承認された
 - (2) 委員会細則の見直しについて
 - ① 目的に「安全」を入れる
 - ② 「委員会規則の変更」に関する箇所変更の承認
 - ③ 文言の修正
 - ④ 委員任期の開始時期について
2. 「労働衛生法令の課題と将来のあり方に関する提言（2013 年 4 月 15 日）」について
3. WG の経過報告について
進捗状況，WG 報告案の作成目安など報告・審議された。
 - (1) メンタルヘルス WG
 - ① 10 月の WG で報告案の方向性を審議する予定。
 - ② WG に関する経過報告
 - ・ 8 月 28 日学会 HP に「事業場におけるストレッチェック制度の義務化に関する検討結果（中間報告）」が掲載された。
 - ・ 9 月 25 日第 75 回労働政策審議会安全衛生分科会で川上理事から「事業場におけるストレスチェック制度の義務化（精神的健康の状況を把握するための検査等に関する労働安全衛生法の一部を改正する法律案）に関する意見」について説明された。
同日、精神科七者懇談会に対してもヒアリングが行われた。
 - (2) 産業現場の化学物質管理 WG
WG 報告書の概要が紹介され、内容について審議された。報告書に記載する内容について、以下の意見があった。
 - ① 印刷事業場での胆管がんが、日本でどうして発生したのか分析する
 - ② 欧米のような“結果責任”を問う方針に移行するために必要なことを提言
 - ③ 国や学会の果たす役割を示す
 - ④ 胆管がんの発生を端緒に課題提起と論点整理し展開していく
 - (3) 今後のスケジュール
今後の WG の進捗状況をふまえ、報告書（案）を随時理事会に諮る。
 - ① 12 月 22 日理事会で WG 報告書を提示
 - ② 2014 年 4 月 12 日理事会で WG 報告書を提示し承認を得る

③ 2014 年 5 月日本産業衛生学会総会フォーラムの開催
(岡山)

政策法制度委員会フォーラムにて WG 報告書を学会
内外に発信する。

4. 「将来の産業保健活動や体制のあるべき姿」について
委員会からの提言をテーマに話題提供され、前回の委員会
に引き続き審議を行った。継続審議とされた。

Ⅲ. 次回、委員会の開催日について

日時：平成 26 年 2 月 1 日 (土) 13:00 ~ 17:00

場所：東京大学 医学部 3 号館 1F S102

平成 25 年度 編集委員会活動報告

産業衛生学雑誌編集委員長：笠島 茂

- 編集委員会は、編集委員全員による委員会を 3 回 (うち 2 回はオンライン上での委員会)、委員長・副委員長による編集小委員会を合計 6 回 (すべてオンライン上での委員会) 開催し、主に編集方針について審議した。
- 産業衛生学雑誌 (産衛誌) 第 55 巻 1-6 号の刊行は順調であった。掲載内容は、総説 1 編、原著 6 編、短報 4 編、調査報告 3 編、話題 4 編の計 18 編 (前年 20 編)、および、許容濃度等の勧告、許容濃度の提案理由、研究会からの資料等であった。
- 平成 25 年 1-12 月における産衛誌への投稿数は、原著 15 編、短報 3 編、調査報告 4 編、事例 2 編、話題 3 編の合計 27 編 (前年 34 編)、この期間における掲載不可、取り下げ、期限切れの論文数は 9 編であった。
- Journal of Occupational Health (JOH) Vol.55 No.1-6 の刊行は順調であった。掲載内容は、Original 40 編、Brief Report 7 編、Field Study 11 編、Case Study 3 編の計 61 編 (前年 58 編)、および、許容濃度の勧告であった。第一著者の国別では、日本 23 編、国外 38 編 (韓国 5 編、中国 4 編、インド、台湾各 3 編、イラン、オーストラリア、タイ、フィンランド、マレーシア各 2 編、イギリス、イタリア、ギリシア、スイス、スペイン、トルコ、ニュージーランド、ベネズエラ、ベルギー、ポーランド、南アフリカ、メキシコ、レバノン各 1 編) JOH のインパクトファクター (2012) は 1.634 であった。
- 平成 23 年 1-12 月における JOH への投稿数は、Review 6 編、Original 189 編、Brief Report 14 編、Case Study 12 編、Field Study 29 編、Opinion 2 編の合計 252 編 (前年 262 編)、この期間における掲載不可、期限切れ、および取り下げの件数は、183 編 (前年 190 編) であった。
- 日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) を取得した。交付額は 490 万円であった。
- 文部科学省科学技術・学術政策研究所より「自然科学分野における論文数の分野別推移に関する調査」についてのアンケート依頼があり、笠島編集委員長を中心にまとめた。

- 編集委員会 COI 検討部会 (玉腰、杉森、平工、毛利) で、投稿時の COI 申告導入のあり方を検討した。
- 日本医学会より「日本医学会 118 分科会における医学研究に係わる利益相反 (COI) 対応の現状アンケート」の依頼があり、笠島編集委員長と平工副編集委員長とが中心にとりまとめた。
- 2013 アジア太平洋医学雑誌編集者会議 (APAME)・日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 合同会議 (Asia Pacific Association of Medical Journal Editors Convention 2013: APAME 2013 Tokyo) が平成 25 年 8 月 2-4 日に日本医師会館で開催され、武林副編集委員長および野見山編集担当理事が出席した。
- 第 86 回日本産業衛生学会 (松山) で「編集長と話そう」の企画を実施した。
- 剽窃検知サービス「CrossCheck」の利用を開始した。
- ScholarOne の仕様変更を行い、査読辞退理由ないし査読遅延の状況を確認されるようにした。
- 日本産業衛生学会が公益社団法人へ変更になったことに伴い、発行誌への広告掲載覚書を作成した。
- 平成 25 年度産業衛生学雑誌優秀論文賞候補を選考した。
- 査読者表彰制度を創設し貢献度の高い査読者候補を選考した。
- 次期編集委員会委員を選任し、投票で次期編集委員長に堤 明純教授 (北里大学医学部) を選出した。

次期編集委員長の選考結果について

編集委員会では、笠島 茂現編集委員長が平成 26 年 2 月末で任期満了となるのを受けて、編集委員会規程に基づき平成 26-28 年度の編集委員長の選挙を実施し、堤 明純教授 (北里大学医学部公衆衛生学) を選出しました。

2013 年「産業衛生学雑誌優秀論文賞」 受賞論文のご報告

日本産業衛生学会編集委員会では、産業衛生学雑誌に各年 1 月から 12 月までの 1 年間に公表された論文の中から、特に優れた論文に優秀論文賞を授与しています。2013 年は下記 4 論文が優秀論文に選考されました。各論文の筆頭著者は、2014 年 5 月に岡山で開催される日本産業衛生学会総会において表彰される予定です。

編集委員長 笠島 茂

論文名：「クリスタルガラス製品の製造に伴って発生するブルーライトの有害性」(原著)

著者名：奥野 勉, 上野 哲, 小林祐一, 神津 進

掲載号：55 巻 3 号 p.85-89

論文名：「警察官における虚血性心疾患の危険因子とその背景要因に関する検討」（原著）

著者名：塩崎万起，宮井信行，森岡郁晴，内海みよ子，小池廣昭，有田幹雄，宮下和久

掲載号：55 巻 3 号 p.115-124

論文名：「福島第一原子力発電所における事故収束作業員の熱中症発生に関する特徴」（調査報告）

著者名：辻 雅善，各務竹康，早川岳人，熊谷智広，日高友郎，神田秀幸，福島哲仁

掲載号：55 巻 2 号 p.53-58

論文名：「企業全体で産業保健を展開するための統括産業医の機能と位置づけ」（原著）

著者名：森 晃爾，永田智久，梶木繁之，日野義之，永田昌子

掲載号：55 巻 5 号 p.145-153

平成 25 年度新入会者

[福島] 阿久津由香子，日高友郎 [栃木] 楡木恵実子 [千葉] 宇都宮啓，宮原公子 [東京] 石澤哲郎，岩本里美，大石由佳，岡本大亮，小川恵美，佐野友美（学生会員），下方 征，脊尾大雅，玉木健太郎，津野陽子，豊田大介，野田 昇，藤高裕子 [神奈川] 加賀まこと，木村香織，原田直孝，吉田勝也 [長野] 新井浩朗，田中美保，西村久明（学生会員） [静岡] 堀場公寿 [愛知] 犬飼勢津子，大神信孝，大野豊樹，矢加部愛子 [滋賀] 笠原亜弥，皆川 玲 [京都] 高野裕久 [大阪] 伊藤雅子，中平健太郎，安原 亨，山口治子 [兵庫] 井上清美，大路 剛，岡亜希子 [島根] 野津朱里，秦 幸吉，藤田小矢香，山下一也 [岡山] 大元和歌子，柏 尚裕，國本政子，小山洋子，藤井保人，吉田純子（学生会員） [広島] 井原 恵，河原大陸（学生会員），高水幸太郎（学生会員），徳森公彦 [山口] 石丸泰隆，二宮寿美 [香川] 林 浩範，横山勝教（学生会員） [福岡] 宇井秋子，上野くみ子，杉本浩利，本田貴紀（学生会員） [宮崎] 甲坂直美 [鹿児島] 牛飼美晴

学会員からの自著紹介

先進 10 事例に学ぶ「健康経営」の始め方～会社を伸ばす秘訣は社員の健康～

井上俊明（日本産業衛生学会会員）編著，
新書判並製 176 ページ，定価（本体 800 円＋税）
発行：日経 BP コンサルティング（TEL 03-6811-8712）

最近，企業の新たな経営戦略として「健康経営」が注目を集めている。1980 年代に米国の経営心理学者ロバート・H・ローゼン氏が唱えた，「健康な従業員こそが収益性の高い会社を作る」というその考え方が，メンタルヘルス不調者の増加や健康保険組合の財政悪化の中で，日本企業の間にも広がりつつある。

本書は，日経 BP 社のウェブサイト「日経ビジネスオンライン」に，2013 年 4 月～11 月にわたって掲載した「健康経営最前線」の記事に加筆し，新たにインタビューやデータ集を加えたもの。大企業や健保組合による従業員の健康づくりのケーススタディーを中心に構成しており，人事・労務担当者や産業保健スタッフはもちろん，経営管理層や一般ビジネスマンも気軽に読めるようになっている。

全体は四つの章からなる。まず，第 1 章「急速に高まる『健康経営』の導入機運」で健康経営の概念を紹介したうえで，今，日本の産業界で注目されている理由や背景を説明。政府の「日本再興戦略」に盛り込まれた「データヘルス計画（仮称）」についても触れ，健康経営の普及に果たす役割を論じている。

第 2 章では，8 企業と二つの健保組合による健康づくりの取り組みの実際を紹介。取り上げているのは，三菱電機，堀場製作所，本田技研工業，SCSK，医療法人博愛会，日本 IBM 健康保険組合，ロート製薬，資生堂，ファイザー日本法人，デンソー健康保険組合。経営トップによる健康宣言，健康づくりを進めるための組織づくり，メンタルヘルス対策，禁煙や運動の支援，女性社員のがん検診受診率向上など，現場の様々な取り組みを幅広く盛り込んでいる。

第 3 章「識者が語る『健康経営』」では，日本産業衛生学会と関係の深い識者二人のインタビューを掲載。最後の第 4 章には，東京商工会議所が行った「従業員の健康づくりに関するアンケート調査」と，厚生労働省の「データヘルス事例集」（第 1 版）を抜粋して掲載している。

第 23 回日本臨床環境医学会学術集会 第 65 回日本産業衛生学会 アレルギー・免疫毒性研究会 合同開催

会 期：2014 年（平成 26 年）6 月 14 日（土）～ 15 日（日）

場 所：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

〒 606-8501 京都市左京区吉田本町

（アクセス：http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm

よりご確認ください）

大会テーマ：「地球から分子まで，環境と健康を科学する」

大会長：高野裕久（京都大学大学院工学研究科教授）

特別講演 1 「いま，なぜ生物多様性なのか？」（仮題）

五箇公一（国立環境研究所）

特別講演 2 「地球温暖化と人類の選択 ～最新の科学的知見に基づいて～」（仮題）

江守正多（国立環境研究所）

シンポジウム 1 「PM2.5 一対策と研究の最前線」（仮題）

市瀬孝道（大分県立看護科学大学）

内山巖雄（京都大学 名誉教授）

島 正之（兵庫医科大学）

早川和一（金沢大学）

シンポジウム 2 「建築物における環境汚染・健康影響・そして改善対策」

鍵 直樹（東京工業大学）

柳 宇（工学院大学）

阪口雅弘（麻布大学）

野崎淳夫（東北文化学園大学）

一般演題

発表形式：口頭発表（ポスター発表も検討しています）

演題募集期間：平成 26 年 1 月 20 日（月）～ 3 月 31 日（月）

事務局：京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻環境衛生学講座内

第 23 回日本臨床環境医学会学術集会事務局

電話：075-383-3342 FAX：075-383-3344

E-mail：23-amjsce-office@jphghealth.env.kyoto-u.ac.jp

ホームページ：<http://health.env.kyoto-u.ac.jp/23-amjsce-office/index.html>

参加申し込み：第 23 回日本臨床環境医学会学術集会ホームページに掲載

第 45 回日本職業・環境アレルギー学会 総会・学術大会のお知らせ（一般演題募集）

一般演題申込み受付中 2014 年 4 月 18 日 締切

今回，本学会では初の試みとして，産業衛生分野の皆様からのご発表を募集させて頂くこととなりました。職業・環境アレルギーだけでなく，産業衛生に関係するさまざまな視座・視点からの研究と活動のご発表を広く募集致します。優秀演題には第 45 回日本職業・環境アレルギー学会学術大会賞として，記念品を贈呈致します。申込み方法，応募資格，発表の詳細（2014 年 6 月 28 日，13 時開始予定，発表 10 分，質疑 5 分を予定），プログラムなどの詳細は，大会ホームページ（<http://www.oea45th.info/>）でご確認下さい。

【会 期】2014 年 6 月 28 日（土）～ 29 日（日）

【会 長】岸川 禮子（国立病院機構 福岡病院）

【会 場】福岡ソフトリサーチパーク（SRP）センタービル 2F
（福岡市早良区百道浜 2-1-22）

【参加費】医師・一般 10,000 円

大学院生 5,000 円，大学生無料

（学生証の提示をお願いします）

懇親会へ参加ご希望の場合は + 3,000 円です。

【特 典】

日本医師会認定産業医制度生涯研修 10 単位

参加事前申込み 受付中（200 名まで）

日本アレルギー学会 参加 4 単位・発表 3 単位

日本医師会生涯教育制度 10 単位

【事務局】

国立病院機構 福岡病院 研修情報センター内

福岡市南区屋形原 4-39-1

Tel 092-565-5534 内線（272）

ska45 @ allergy-fk.com

第 25 回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。本研修会には日本体力医学会会員以外の方も参加できます。他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

本研修会の詳細および申し込み方法等は体力医学会ホームページをご参照下さい。

ホームページアドレス：<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/>

1. 会場：東京慈恵会医科大学西新橋校、大学1号館6F機能系実習室、他

2. 日時および研修カリキュラム

(I) 基礎コース：平成26年7月11日(金)(運動と神経・筋、運動と呼吸、運動と代謝(水・電解質およびエネルギー代謝)、運動と栄養、運動と循環、懇親会)、7月12日(土)(運動処方の基礎、生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・高脂血症)、救急救命実習(人体模型を用いた実習))

(II) 応用コース：8月1日(金)(高血圧症およびその他の循環器疾患の運動処方、運動器疾患の運動処方、運動処方実習(自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習)、8月2日(土)(運動処方の作成(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる)、テーピングおよび筋力トレーニング実習)、8月3日(日)(修了試験)

3. 受講料：(I)基礎コース、(II)応用コース、修了試験の全てを受講した場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし、学生証の提示が必要です。

4. 受講資格と定員：受講資格は特に定めません。定員は各コース40名です。

5. その他：健康運動指導士、実践指導者の登録更新に必要な履修単位60分1単位(講義題目8科目認定)およびTHPでは基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

6. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。

7. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F

一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

日本地域看護学会 第17回学術集会 参加者募集



■会 期 平成26年(2014年)8月2日(土)～3日(日)

■会 場 岡山コンベンションセンター

〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14-1(岡山駅隣接)

■学術集会長 岡本玲子(岡山大学大学院保健学研究科 教授)

■メインテーマ 継承と変革 地域看護のアクションリサーチ

■事前参加登録：2014年6月30日(月)締切

※締切後は、当日会場にて受付となります。

■参加費

		学術集会	懇親会費
会員	事前申込	9,000円	7,000円
	当日受付	10,000円	8,000円
非会員	事前申込	10,000円	7,000円
	当日受付	11,000円	8,000円
学生(院生を除く)	事前申込	2,000円	7,000円
	当日受付	3,000円	8,000円

*学術集会参加費には講演集代が含まれます。

■プログラム

特別講演：地域に根ざす相互扶助のアクション 講師 菅波 茂氏(特定非営利活動法人アムダ理事長)

公開シンポジウム：愛育委員会活動の継承と変革 シンポジスト 恩賜財団母子愛育会 部長 大場エミ氏 ほか
アクションリサーチ関連の教育講演

講師 矢守克也氏(京都大学防災研究所)、田村由美氏(滋慶医療科学大学院大学教授)、木村哲也氏(歴史民俗研究者)

■その他：学術集会長講演、ワークショップ、ランチョンセミナー等

■学会ホームページ：日本地域看護学会 第17回学術集会 <http://www.convention-w.jp/17jachn/>

■学術集会に関するお問い合わせ先：

【第17回学術集会事務局】

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院保健学研究科 岡本玲子研究室

e-mail：phn@md.okayama-u.ac.jp

※お問合せはメールでお願い致します。

第 24 回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会第 2 報

(同時開催) 第 23 回産業衛生技術部会大会

メインテーマ: 「産業衛生をすべての人々と職場に」

(ホームページ <http://ncopn24.jp>)

1. 会 期: 平成 26 (2014 年) 9 月 24 日 (水) ~ 27 日 (土)
の 4 日間

2. 会 場:

金沢市文化ホール

〒 920-0864 石川県金沢市高岡町 15 番 1 号
TEL: 076-223-1221

石川県文教会館

〒 920-0918 石川県金沢市尾山町 10 番 5 号
TEL: 076-262-7311

(いずれも石川城公園や兼六園まで徒歩 10 分圏内)

3. 主 催

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会

日本産業衛生学会 産業医部会

日本産業衛生学会 産業看護部会

日本産業衛生学会 産業歯科保健部会

合同開催: 日本産業衛生学会 産業衛生技術部会

4. 企画運営委員会

企画運営委員長: 中川秀昭

(金沢医科大学総合医学研究所 北陸甲信越地方会長)

企画運営副委員長:

亀田真紀

(金沢大学 産業看護部会北陸甲信越地方会幹事)

城戸照彦

(金沢大学 北陸甲信越地方会石川県常任理事)

曾山善之(曾山歯科医院 産業歯科保健部会幹事)

服部 真(城北病院 産業医部会北陸甲信越地方会幹事)

実行委員長: 服部 真

5. 事務局

企画運営事務局: 金沢医科大学医学部公衆衛生学講座

〒 920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

TEL: 076-218-8093 FAX: 076-286-3728

E-mail: ncopn24@kanazawa-med.ac.jp

6. 参加費

日本産業衛生学会 学会員

事前登録 7,000 円, 当日参加 8,000 円

日本産業衛生学会 非学会員

事前登録, 当日参加とも 9,000 円

7. 認定制度

日本医師会認定産業医制度, 産業看護実力アップコース
の単位を申請予定です。

8. 懇親会

平成 26 年 (2014 年) 9 月 26 日 (金)

18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

金沢ニューグランドホテル(金扇) 金沢市文化ホール向い
事前登録 6,000 円, 当日参加 7,000 円

9. 宿泊・交通

4 月以降に, ホームページでご案内します。

10. 主な企画

以下のシンポジウムや講演, 教育企画を検討しています。
タイトルはいずれも仮です。皆様からのご意見やご提案
をお願いします。

- メインシンポ「産業衛生をすべての人々と職場に:
分散事業場・小規模事業場や請負・派遣・非正規す

べてを視野に入れた産業衛生のあり方」

1. 分散事業場や子会社を含めた産業衛生の展開
2. 正規・非正規・下請けなど雇用形態の違いを超え
た産業衛生の展開

3. 小規模事業場や第三次産業に対する安全衛生コン
サルティングの経験

4. 様々な事業場外専門職との連携による産業衛生の
展開

- 基調講演「小規模事業場や非正規労働者の労働安全
衛生を向上させるために—ILO の考えと活動」

- 特別講演

- シンポ「これからのメンタルヘルス対策: 患者さが
しから患者をつくらない生き生き職場づくりへ」

- シンポ「小規模事業場でも出来るわかりやすい有害
物管理」

- シンポ「生活モデル時代における産業保健の役割:
産業保健職への提言」

- シンポ「歯と口の健康と全身疾患, 医療費との関連
性について」

- 講演「社会経済格差と働くものの健康」

- 講演「若い人を育てるメンタルヘルスの観点」

- 講演「睡眠と食欲の科学」

- 集中教育企画「すべて分かる医療機関・介護施設で
の産業衛生: 有害物管理からこころとからだの健康
管理まで」

- 四部会合同セミナー

- 四部会合同リレーワークショップ

- 実地研修

11. 日程

9月24日(水)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午後	「四部会合同セミナー」	/
夕	「四部会合同セミナー 討論会」	
9月25日(木)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	「四部会合同セミナー 発表会」	企業展示
午後	講演, 実地研修, 各部会会議・企画	
夕	自由集会	
9月26日(金)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	基調講演, メインシンポジウム	ポスターセッション, 企業展示
昼	ランチョンセミナー	
午後	シンポジウム, 教育講演, リレーワークショップ	
夜	懇親会	

9月27日(土)	講演会場	ポスター会場 展示会場
午前	シンポジウム, 特別講演, 教育講演, 集中教育企画	企業展示
昼	ランチョンセミナー	
午後	シンポジウム, 集中教育企画	

12. 参加申し込み

4月以降にホームページでご確認ください。

13. ポスター演題申し込み

ポスター発表のみとなります。筆頭発表者は日本産業衛生学会会員に限られ、事前参加登録が必要です。筆頭発表者としては一人1演題のみとなります。正式には、4月以降に、ホームページでご確認ください。

14. 委員会, 自由集会

会場を確保しますので、事務局までファックスかEメールでご連絡下さい。会場設営や運営は各自でお願いします。

*上記内容は変更になることがあります。次回の第3報および第24回産業医・産業看護全国協議会のホームページ(<http://ncopn24.jp>)で、最新情報をご確認下さい。

第21回アジア産業保健学会 (ACOH2014) 開催案内

来る平成26年(2014年)9月2日(火)～4日(木)、第21回アジア産業保健学会(ACOH2014)が、福岡で開催される事が決まりましたのでお知らせ致します。

主催：日本産業衛生学会

名誉大会長：圓藤吟史(大阪市立大学大学院教授/日本産業衛生学会理事長)

実行委員長：高橋 謙(産業医科大学教授)

事務局長：大神 明(産業医科大学教授)

大会テーマ：「産業保健, 基礎研究, 臨床医学の懸け橋」

会場：ヒルトン福岡シーホークホテル(福岡市)

参加登録費：事前登録 ¥35,000(平成26年6月30日迄)

当日登録 ¥40,000

一般演題：(ポスターセッションのみ)平成26年6月30日 募集〆切

事務局：産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学研究室

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL: 093-691-7471 FAX: 093-601-2667

E-mail: acoh2014@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

ホームページ：<http://acoh2014.com/>

併催：第24回日中韓産業保健学術集談会

*今回の福岡大会では、小木和孝国際産業保健学会(ICOH)会長ほか計3名の「基調講演」をはじめ、プレナリーセッション、シンポジウム、ワークショップ等を予定しております。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

第24回日中韓産業保健学術集談会

会期：2014年9月2日(火)～4日(木)

会場：ヒルトン福岡シーホークホテル 福岡市中央区地行浜2-2-3

(9/4)シンポジウムテーマ：①産業保健における教育 ②仕事とがん

*今年度はアジア産業保健学会(ACOH2014)との併催となりますので、参加登録は下記の

ホームページよりお申込みください⇒<http://acoh2014.com/>

*9月4日のシンポジウムのみ参加登録は下記事務局へメールでお申し込みください。

学会長：大久保利晃(財)放射線影響研究所理事長/元・産業医科大学学長

事務局長：森本泰夫 産業医科大学産業生態科学研究所 呼吸病態学 教授

申込先：(常設事務局)産業医科大学産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学研究室

TEL: 093-691-7470 / FAX: 093-601-2667 E-mail: kjcc@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

URL: <http://wshiivx.med.uoeh-u.ac.jp/kjc/index.html>

第 88 回日本産業衛生学会 (第 1 報)

会 期：2015 年 5 月 13 日 (水)～16 日 (土)
 会 場：グランフロント大阪 (ナレッジキャピタル・コングレコンベンションセンター)
 大阪市北区大深町 3-1
 企画運営委員長：車谷典男 (奈良県立医科大学地域健康医学講座 教授)
 演題申込・原稿締切：2014 年 12 月 11 日 (木) <予定>

詳細は、今後「産業衛生学雑誌」に掲載するほか、下記ホームページ等でも順次公開してまいります。

【連絡先】

(1) 学会事務局
 〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840
 奈良県立医科大学地域健康医学教室内
 「第 88 回日本産業衛生学会」学会事務局
 (2) 運営事務局
 〒 530-0001 大阪市北区梅田 3 丁目 3-10
 梅田ダイビル 4 階
 株式会社 JTB コミュニケーションズコンベンション事業局内
 「第 88 回日本産業衛生学会」運営事務局
 TEL：06-6348-1391 FAX：06-6456-4105
 URL：http://www.jsoh88.jtbcom.co.jp

第 21 回日本免疫毒性学会学術年会 第 66 回日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会 合同開催

会 期：2014 年 (平成 26 年) 9 月 11 日 (木)～12 日 (金)
 場 所：徳島文理大学 国際会議場 (21 号館 2 階)
 〒 770-8514 徳島市山城町西浜傍 180
 (アクセス：空路：羽田→徳島, 福岡→徳島 (徳島空港～徳島駅リムジンバス)
 高速バス：大阪, 神戸, 京都, 関西空港から徳島駅まで直通
 鉄道：岡山→高松→徳島)

大会テーマ：「免疫毒性学研究の新たな一歩」

年会長：姫野誠一郎 (徳島文理大学薬学部教授)

- ・特別講演 I Marc Pallardy (パリ南大学)
- ・特別講演 II 川村龍吉 (山梨大学医学部・皮膚科)
- ・教育講演 峯岸克行 (徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター)
- ・シンポジウム「次世代の免疫毒性研究を考える」
- ・試験法ワークショップ

「アレルギーと自己免疫疾患に関する新たな試験法開発を目指して」

- ・一般演題 (口演・ポスター) を予定

* 年会において優秀な一般演題を発表した会員に対し、「年会賞」並びに「学生・若手優秀発表賞」を贈呈します。

発表形式：口頭発表とポスター発表

演題募集期間：平成 26 年 4 月 21 日 (月)～7 月 10 日 (木)

事務局：徳島文理大学薬学部・衛生化学講座内
 第 21 回日本免疫毒性学会学術年会事務局
 担当：藤代 瞳

電話：088-602-8460 FAX：088-655-3051

e-mail：jsit2014@ph.bunri-u.ac.jp

ホームページ：http://p.bunri-u.ac.jp/jsit2014/

参加申し込み：第 21 回日本免疫毒性学会学術大会ホームページに掲載予定

第 25 回日本末梢神経学会学術集会開催案内

会 期：2014 年 8 月 29 日（金）、30 日（土）
会 場：ホテルルビノ京都堀川 〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町
テーマ：集学的アプローチが拓く末梢神経学の明日
会 長：中川正法（京都府立医科大学附属北部医療センター 病院長）
ホームページ：<http://jpns25.umin.jp>
お問い合わせ：（運営事務局）（株）サンプラネ
TEL：03-5940-2614 E-mail: jpns25@sunpla-mcv.com

プログラム（予定）

特別講演

1. Dr. Michael Shy (Department of Neurology, Iowa University, USA)
2. Dr. Dishan Singh (Department of Orthopaedic Surgeon, University of London, UK)
3. Dr. Luca Padua (Department of Neurology, Università Cattolica del Sacro Cuore, Italy)

特別企画 「学会 25 年を振り返って」

教育講演

1. 末梢神経疾患の画像診断（仮題）
2. 末梢神経の機能再建（仮題）
3. CIDP/MMN 診療ガイドライン（仮題）
4. 末梢神経障害と疼痛（仮題）

シンポジウム

1. 麻痺手に対する機能再建
2. 末梢神経障害の分子病態
3. 再生医療を用いた神経再生
4. 免疫介在性末梢神経障害の診断と治療

産業医学講座 「末梢神経障害・脳外傷等の職場復帰と作業管理」

メディカルスタッフ・レジデント教育セミナー

神経伝導の基本原理
神経伝導 hands-on レクチャー

厚生労働省セッション 「厚生労働省による難病対策（仮題）」

一般演題（口演・ポスター）・メディカルスタッフセッション（ポスター）

【演題登録期間】2014 年 2 月 13 日（木）～2014 年 4 月 3 日（木）正午

【詳細】 <http://jpns25.umin.jp>

市民公開講座

8 月 31 日（日）市民公開講座（京都府立医科大学図書館ホール）

会費納入のお願い

正会員各位

平成 26 年度の会費 10,000 円をご納入くださいますようお願い申し上げます。

本号 56 巻 2 号 (3 月号) に郵便振替の払込取扱票を綴じ込みしております。
必ず、会員番号、会員名等をご記入ください。

振込先口座：00100-7-133495

加入者名：公益社団法人 日本産業衛生学会

また、インターネットバンキングや他金融機関からの振り込みをなさる方は、
振込先口座を下記のように読み替えてお手続きください。

ゆうちょ銀行 〇一九 (ゼロイチキュー) 店

口座番号：当座 0133495

受取人：コウエキシャダンホウジン ニホンサンギョウエイセイガツカイ

ご本人様確認のため、「依頼人番号入力」などで必ず会員番号をご入力ください。

入力設定のない場合は「振込人氏名」で氏名に続けて会員番号をご入力ください。

氏名と会員番号の両方の記載がない場合、どなたのお振り込みかを特定できない
ことがありますのでご注意ください。

※ 法人名でお振り込みになる場合は、会員特定のため、必ず下記の内容を FAX にて
ご連絡ください。

・払込年月日・振込者名

・会員番号・会員氏名

早期のご納入にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

公益社団法人 日本産業衛生学会

事務局

TEL：03-3356-1536

FAX：03-5362-3746